



# なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が  
あふれる 長幡小学校  
令和6年 9月30日  
第 12号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数 60冊 1冊以上提出した児童数：31名 9月26日現在

## 学力の秋！ 校内授業研究会

9月24日（火）、第3回校内授業研究会を開催しました。2年1組、神村教諭が算数「三角や四角の形を調べよう」の授業を公開し、“一人一人の学びを保障した授業づくり”について、研究協議を行いました。（指導者：北部教育事務所 関 裕美 指導主事）

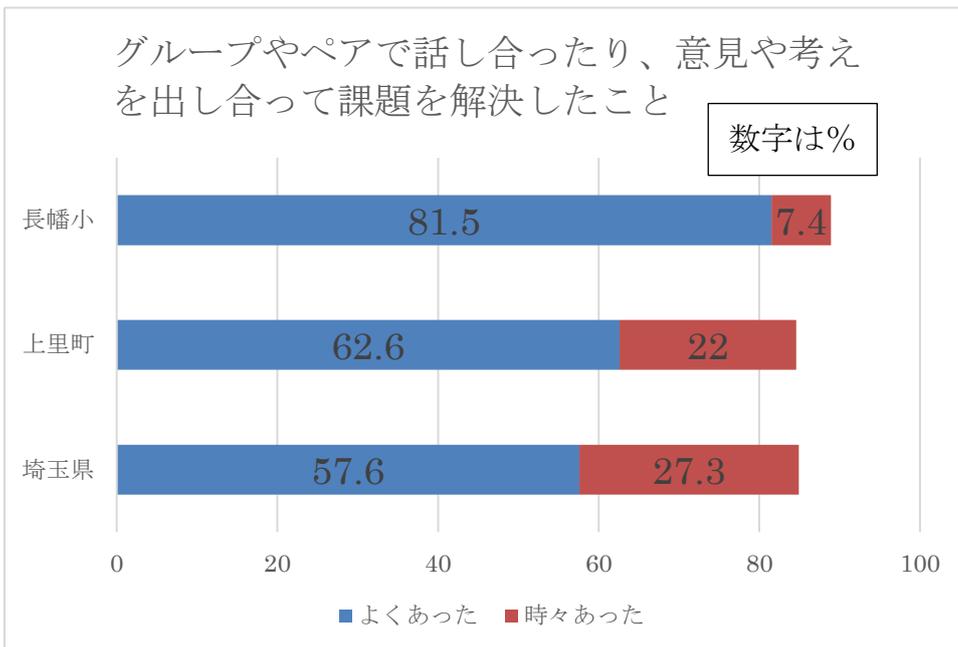
9つの図形をグループ分けすることをおして、三角形、四角形の定義を理解する授業でしたが、子供たちは、ペアになって考えを交流しながらグループ分けに挑戦していました。

「図形」にかかわる分野は、本校児童が苦手とする分野となっています。言葉による理解だけでなく、図形を描いたり、切ったり、動かしたりと、操作的な活動を加えながら理解させていくことが必要となることを指導していただきました。



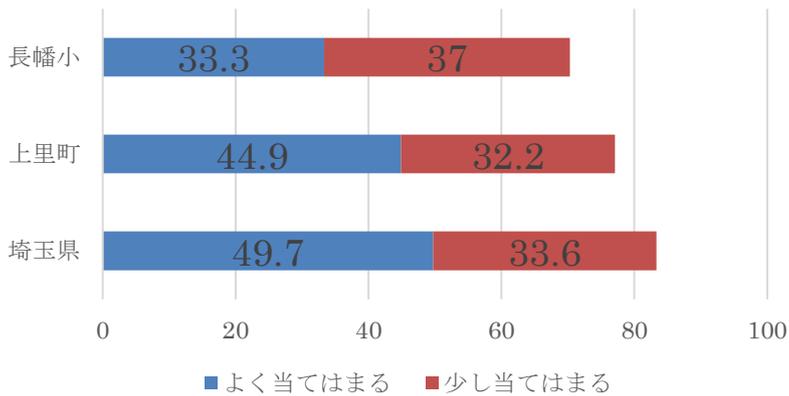
考えたことを分かり易く発表

<令和6年度埼玉県学力・学習状況調査 児童質問紙（6年）より>



本校を含め上里町小中学校は、「学び合い学習」を学力向上の中心に据え、研究を進めてきました。その成果の一端が左のグラフに表れています。個人で考えたことをペアやグループで交流することで気づきを得たり、考えを広げたり深めたりという学習活動に取り組んできました。ペアやグループでの学び合い等をおして、誰一人取り残さない授業を目指してきました。

授業で教えてもらった基本的なことは理解できたと思う



課題も見られます。左のグラフからも分かるように、基本的事項の理解が十分ではないところです。漢字の読み書きができる、四則計算が正確にできる、主語・述語の関係が分かる等、基礎的・基本的な部分の知識・理解がさらに定着していけば、本校児童の学力はまだまだ向上するものと思われます。子供たちが、自分の「やる気スイッチ」を自らONにできるよう、研究を進めていきます。

## 体験から学ぶ！

9月下旬に3・4・5年生の社会科見学を実施することができました。学校という場を離れて、その道の専門家等の話を聞いたり、実際に体験してみたりと貴重な時間を過ごすことができたものと思います。

3・4年生 9月19日(木) 東秩父和紙の里  
埼玉県立自然の博物館  
5年生 9月26日(木) 川口 Skip シティ



巨大ザメの口に入って



紙の漉き方を教わって



いろいろな実験に興味津々の5年生



「空飛ぶジュータン」に乗って

